

⑤ 環境保全の取組や就業体験など地域の学校、NPO法人との連携【東武サウスヒルズ】

東武サウスヒルズ

- 所在地：標津郡中標津町南町3番地10
- 開店日：平成18年7月1日
- 営業時間：8:30～22:30
- 敷地面積：88,180 m<sup>2</sup>
- 店舗面積：20,501 m<sup>2</sup>
- 延床面積：24,056 m<sup>2</sup>
- 設置者：株式会社 東武
- 主要店舗：株式会社 東武
- 商業団体等への加入状況：中標津商工会
- URL：<http://www.kk-to-bu.co.jp/southhills/>

地域の学校、NPOとの連携のポイント

「東武サウスヒルズ」は、環境保全や子供などに対する地域貢献活動である「エシカル活動」に取り組んでいます。

特に、地域の学校と連携した取組を充実させており、学校の範囲を広げることに加え、農業高校や高等養護学校などの生徒たちが、より活躍できるよう工夫したり、NPO法人の力を借りて取組を上げたりしながら、地域との連携を深めている事例です。

東武の状況

「(株)東武」は、昭和44年設立で、昭和48年7月に、中標津町旧市街地に「ショッピングセンター東武」を開店しました。

中標津町の旧市街地を代表する大型量販店となり、平成7年には端野町(現北見市)に端野店を出店しました。

平成18年には、中標津店の国道南側の現在地に「東武サウスヒルズ」を開店し、旧市街地にあった旧店舗を閉鎖、本店を移転しました。

取組の背景

地域に根ざした取組を続けてきた「東武サウスヒルズ」は、より地域に愛される店作りとして「カスタマーエクスペリエンス(感動体験)」を推進しています。

その一環として、地域の学校との連携を進め、小学生の社会見学や、高校や高等養護学校の生徒の「就業体験」や「物産展」等出展の受入に積極的に取り組んでいます。



「就業体験」では、農業高校の農業クラブ研修会として、店長の指導のもと、商品のPOP作りや商品陳列の学習機会を提供しています。

また、「道東物産展」には30校が参加し、高校生たちが作った商品をブース展開しています。

農業学校はパン、ソーセージやベーコン、高等養護学校は陶器、鉢物などを出品しています。

農業高校については、現在、月1～2回の常設出展に向け協議を行っているところです。



高等養護学校との連携も旧店舗時代から取り組んできていますが、毎年秋に、1年生と2年生を5人受け入れて、職場の「体験学習」を行っています。



実習を体験した生徒から「東武で働きたい」と希望があり、高等養護学校から就職依頼を受けたので、3年生1名を受け入れ、実習を経て採用しました。現在、来店者の対応などポーターとして活躍しており、職場の仲間に頼りにされてきたので、今後、さらに経験を積んで、複雑なセクションでの活躍も視野に入れていきます。

さらに、平成28年度も高等養護学校から希望者1名の依頼を受けています。

その他、28年度は地元高校から4名採用しています。

#### 取組の内容

「東武サウスヒルズ」では、周辺地域での環境保全のための取組や、子供、動物たちへの取組として様々な活動を「エシカル活動」として進めています。

「エシカル活動」の中でも、家庭の不要品を回収する事業「はっぴいエコプラザ」は中標津店、端野店の両店舗で開催しており、障がい者就労支援NPO法人と連携して障がい者20名が対応、毎回、200名の住民が集うイベントになっています。店舗では、不要品を持ち込んだ来店者に対し、当日限定、店舗内で利用できる、商品1点10%引きの「エコプラザグリーン券」を進呈しています。

「エシカル活動」の立ち上げ当初には、取組が理解されず苦労した時期がありましたが、少しずつ理解されるようになり、今では人気のイベントになっています。

住民へのPRは、折り込みチラシや店内告知、

口コミなどで広がっていきました。

障がい者就労支援NPO法人とは、端野店の「イートインフードコート」の運営で連携して取り組んだことがきっかけに、障がい者雇用に結びついた事例もありました。

また、劇団経験を有する端野店の店長を中心に自主組織である「TOBUレンジャー ギガルス」が地域で活動しています。



月に1度の子供向けイベントを開催するなど、今では地域のイベントや防犯の出動式などに呼ばれ、ご当地ヒーローとしての活躍が増えています。

高齢者向けの取組では、近頃、高齢者の一人暮らしが増えている中で、高齢者向けの弁当宅配の「まごころ宅配弁当」に取り組んでおり、「おじいちゃん、おばあちゃんも、これで安心!」を実現するために、メニューも毎日変わる日替わり弁当を年中無休で昼食と夕食用として、低廉な価格で配送・提供しています。

一方で、中標津店では、他店に例を見ない食材の量り売り「バルクコーナー」や「地元特産品売場」を設置したほか、道外一流有名店と同一商品の販売を行うなど、テーマ性や独自性を持たせた売り場づくりを行っており、個性の強い店舗となっています。

#### 今後の展開

「東武サウスヒルズ」は、これまで周辺地域での環境保全のためのエコロジーの取組や、子供、動物たちへの取組など様々な活動「エシカル活動」を進めてきました。

学校関係の取組では社会見学や就業体験などの学校関係の取組のほかに、高齢者向けの取組など、様々な取組を行ってきており、今後もこうした取組を通じて、地域貢献活動を継続し、より地域に根ざした店舗づくりを目指していくこととしています。